

# 福島第一 5・6号機新燃料の所外搬出の 計画変更について

2018年9月27日

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・開示禁止 東京電力ホールディングス株式会社

## 1. 新燃料の所外搬出について

**TEPCO**

- 福島第一廃止措置の準備を計画的に進めることを目的として、5・6号機に保管中の新燃料（5号機168体、6号機192体）について燃料加工メーカー（原子燃料工業）への搬出を計画している。
- 2018年8月20日より、6号機オペフロにて準備作業を開始した。
- 2018年度第4四半期より新燃料を搬出する予定であったが、受入先の原子燃料工業にて追加の新規制基準対応工事が必要となり、2018年度第4四半期の搬出が不可となったため、2019年度以降に延期する。

## 2. 今後の対応について

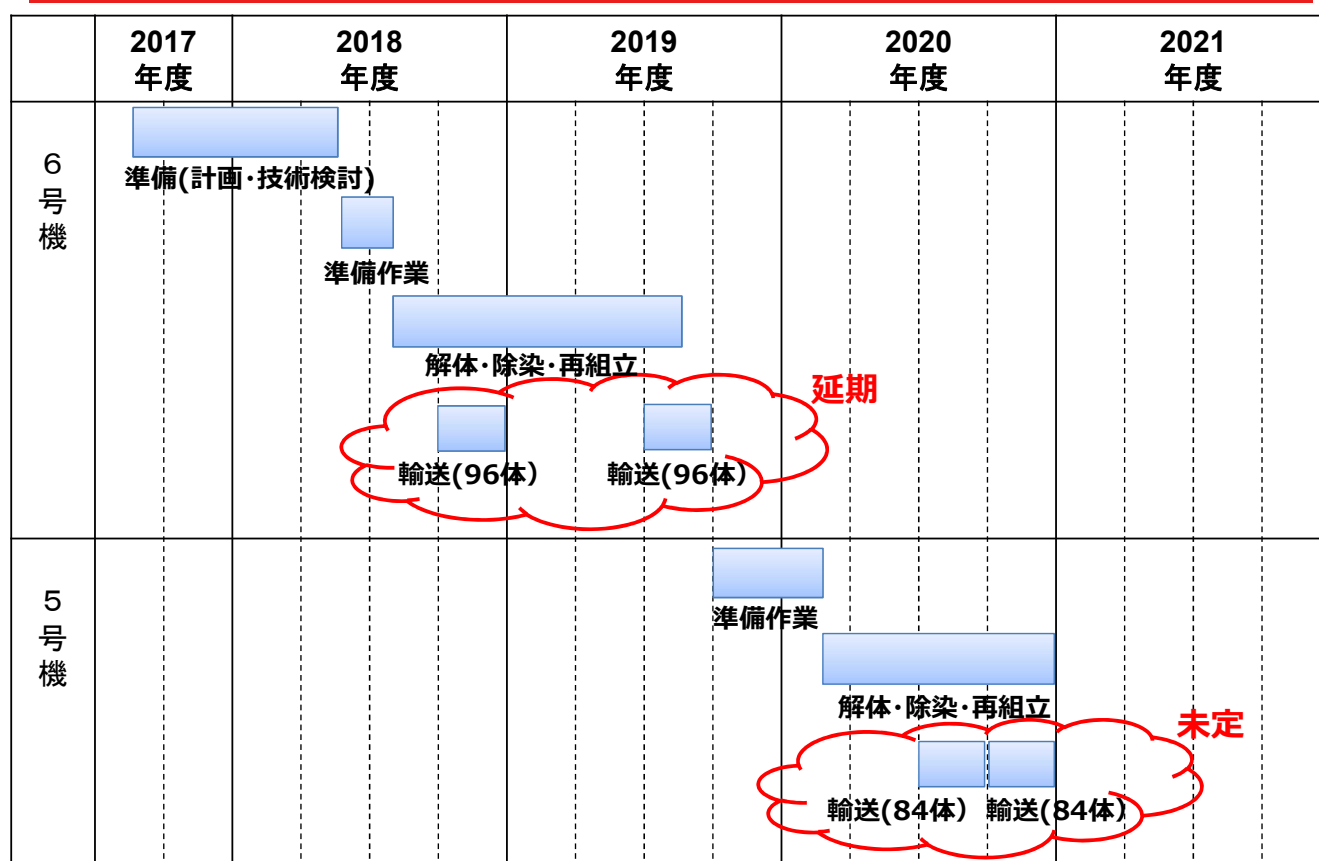
### 原子燃料工業における状況

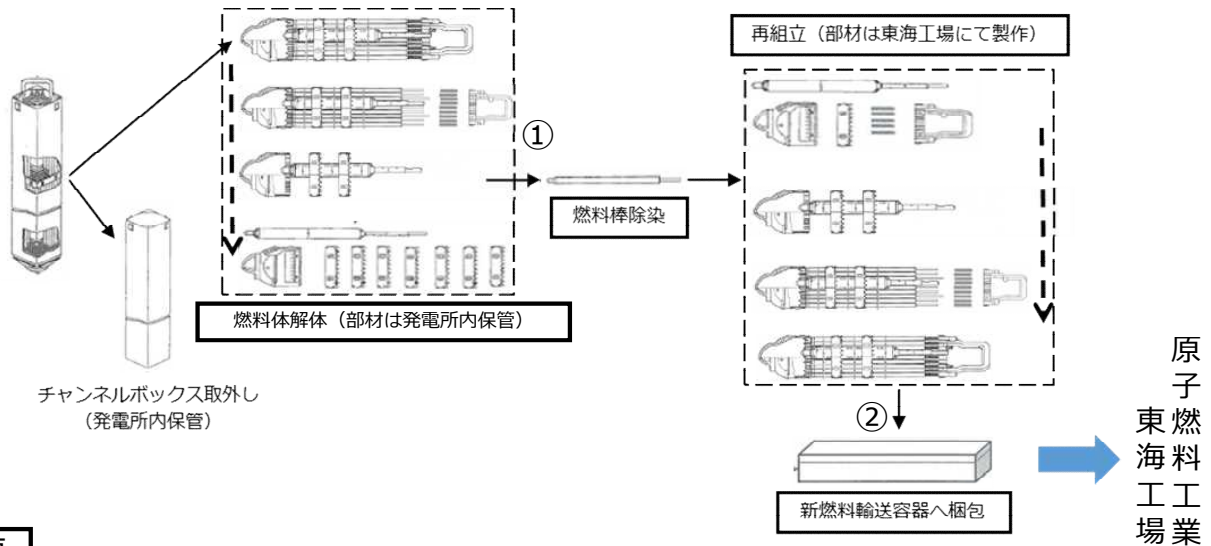
- 当初、燃料受入先として「地下式集合体貯蔵庫」を検討していたが、追加の新規制基準対応工事が必要となり、2018年度第4四半期までに、当該貯蔵庫を含む建屋全体の適合確認が完了しない見込みとなった。
- 当該貯蔵庫に加え、別の貯蔵場所も候補に、新規制基準への対応や受入準備を進める。

### 当社における今後の進め方

- 搬出準備として、新燃料の解体・除染・再組立を行い、搬出までの間はオペフロにある新燃料貯蔵庫で引き続き貯蔵する。
- 原子燃料工業の受入体制が整い次第、新燃料を搬出する。

## 3. 所外搬出スケジュール





## 概要

- ① 発電所構内で燃料体を解体し、検出限界未満まで燃料棒の表面を除染
  - ② 燃料の再組立を行い、原子燃料工業東海工場へ搬出（通常の新燃料輸送に用いる輸送容器に梱包）
- 発電所での解体・除染・再組立作業は中部電力浜岡原子力発電所で実績あり
- 福島第一では5・6号機オペフロにて水の吹き付けによる除染を追加